

# ドイツ旅行

——神聖ローマ帝国 選帝侯の旅（2006. 9月27日～10月13日：17日間）——

9 / 27 (水) 晴れ

自宅 7:15発 車で成田空港付近のサンパーキングへ

サンパーキングのマイクロバスで空港へ

(サンパーキングは今回で3回目、また道順を間違えた。高速

の出口は、成田市内方面へ左、次の分かれ目は、空港へ、右)

成田空港 11:35発 (定刻離陸) ANA

フランクフルト 16:20着

成田空港を定刻離陸、予定時刻 16:35 より 15 分早く Frankfurt am Main に到着した。フライトは順調、機内では映画 2 本、(ダビンチコード、3 丁目の夕日) を観たので前回の海外旅行より時間の経過が速く感じられた。しかしフライト時間 11 時間 30 分は長い。座席が真ん中すなわち通路側でも窓側でもなかったのが最悪の状況であった。

(注：航空券の購入時、JTBでチケット予約をした際に、通路側の席を確保出来ないかとお願ひしたが、事前に席の指定が出来ないと言われた。ところが成田のANA搭乗カウンタでこの点を確認したところ、JTBのチケット予約の祭にリクエストすれば座席の指定は可能であるとの返事を貰った。すなわちJTBは面倒なので座席指定のサービスをしてくれなかったものと考えられる。一方、HISで購入すると座席の指定が可能。)

フランクフルト国際空港ターミナル１に到着。飛行機から降りてイミグレーションおよびバゲージクレームに至る道程が長く分かりにくかった。何故なら途中に乗り継ぎ者用の搭乗カウンタと、免税店が沢山あるため。徒歩でDB（ドイツ鉄道）の駅へ（約１０分）。長距離用と近距離用の駅があるが、予め調べておいた時刻表に基づき、近距離列車用の駅へ。

Frankfurt am Main Flughafen → Koblenz Hbf IC (インターシティー)

電車はかなり混雑していた。とはいっても日本とは、比べものにならないほど車内は余裕があり、補助椅子には座ることができた。しかし、残念ながら一等車に乗ることが出来なかった。1等車が何両目に有るのが分からなかったのと、それに荷物があつたので身動きできなかったため。

Koblenz 駅からホテルまではタクシー、4. 5ユーロ（初乗り2ユーロ）、所要時間約5分。

ホテル　メルキュール泊

写真はコブレンツ中央駅





ホテル メルキュール 手前ライン川

9/28 (木) 晴れ

ケルン、フロイデンベルク観光

6時40分 朝食に出かけた。外はまだ暗い、7時5分頃ようやく明るくなってきた。メニューは、豊富。但し、野菜の種類が、少なく、キュウリとトマトのみ。フルーツ、ヨーグルト、ハム、ソーセージ、パン、スープ etc. 味は Good……。

コブレンツ →ケルン IC コブレンツ発は約15分遅れ

8時43分発 9時42分着

駅を降りたらケルン大聖堂は目の前にそびえ立っていた。しかし、本日はミサの為、入場出来なかった。ミサの参加者のみ入場可能。

今日は、特別な日のようだ。小学生、中学生、多数が入口に並んでおり、聖堂の周囲は、大混雑であった。仕方がなく、隣にある、ローマ、ゲルマン博物館へ入館（5ユーロ/1人、荷物を預けるのに1ユーロ）。モザイクの床が素晴らしかった。但し写真より、くすんで見えた。



ケルン大聖堂の前（礼拝に向かう小学生達）

当初ケルン大聖堂を見学した後、アーヘン大聖堂に行く予定であったが、ガイドブックを見ているうちに、フロイデன்பルクに行きたくなった。急遽行き先を変更。駅の掲示板で電車の時刻を調べた結果、丁度良い電車があるので、ジーゲン経由でフロイデன்பルクに行くことにした。

フロイデன்பルクは木組みの家の集落です。

ケルン→ジーゲン→フロイデன்பルク（モノトーンの木組みの家）

ケルン 10時30分発 DB（ドイツバーン：ドイツ鉄道）

ジーゲン 12時着

ジーゲン 12時20分発 バス(R38,L153) 学生多数 ほとんどが、ジーンズ

フロイデன்பルク 12時50分着 バス内は、混雑

#### 特記事項

ジーゲン駅前のバスターミナルでは、バスは始発駅の為、前後の扉が開放されていた。運転手さんは外で休憩中。学生達が、後ろの扉より乗車したので、我々もつられて、一緒に後ろの扉から乗り込んだ。本来前扉乗車、後扉降車が原則。降車時に運賃を払おうと、運転手さんにその旨伝えましたが、言葉が通じず、結局無賃乗車となってしまった。運賃は乗車の際に前払いであった。この間、他の乗客（特に学生）の視線をかなり感じた。



フロイデன்பルク木組みの家 オープンカフェ

とりあえずバスを降りた。しかしお目当ての木組みの家の集落に行くにはどの道を行けば良いのか分からず、しばらく付近をうろうろする。ガイドブックだけが頼りだが、記載されているのは降車すべきバス停の名前のみ。全く方向が分からないので、お店の近くにいた青年に聞いてみる。坂を上ればすぐだと教えてくれた。

フロイデன்பルクはドイツにはめずらしく白壁にグレーの屋根ですごく爽やかな感じがする綺



麗な町だ。昼食は、集落の中のオープンカフェで、ポークカツレツ、サラダ、ポテト（7．9ユーロ）ポテトの量がすごい。階段を上って行くと公園を発見。絶景ポイントだ。フロイデンベルクの町並みを一望することができた。そこでドイツ在住の日本の若者に会う。彼らは、ここはドイツのなかでもすばらしい場所の1つだと言っていた。



オープンテラスのカフェレストラン

帰りのバス停の場所がわからず、再度近くのカフェに逆戻り、一休みしてバス停を聞く。Pのマークがあり、付近にバス停があると教えてくれた。すぐということだったが、なかなか見つからず、困っていると通りかかったおじさんが教えてくれた。やっと発見。かなりの距離歩く。バス停で待っている間に運賃を聞く（3．1ユーロ）、今度はちゃんと運賃を払って乗車。



フロイデンベルクの町並み

帰り：フロイデンベルク→ジーゲン→ケルン→コブレンツ→ホテル（ホテル着 p m 8時半）

バス DB DB タクシー

コブレンツの駅前で、サラダ、ビール購入。

9 / 29 (金) 晴れ

本日はコブレンツ市内観光。

ホテルより徒歩。選帝侯の城を通過して、Deutsches Eck へ。



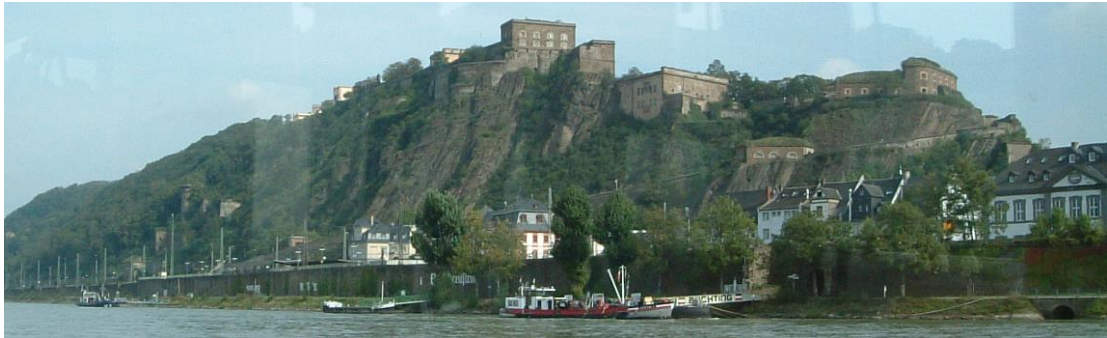
選帝侯の城

ヴィルヘルムの皇帝像見学、モーゼル、ライン河畔を散策して渡し舟で、ライン右岸へ渡る(1.3ユーロ)。渡し船が10時始発かと思っていたので近くをぶらぶらして暇を潰した。ところが実



ヴィルヘルム皇帝の騎馬像

際は8時50分頃から、船は動いていたようだ。時刻表を良くチェックしなかったのが敗因。渡し舟を降り、歩いてリフトの駅へ。チェアーリフトで丘の上のエーレンブライトシュタイン城塞へ(所要時間5分)。4.7ユーロは高いと思ったが、これは城の入場料込みの値段だった。城内のカフェでコーヒープレイク、Deutsches Eck とライン川、モーゼル川が眼下に見渡せた。



エーレンブライトシュタイン城塞，ライン川（リフトは右側に有ったがここからは見えない）

城外へ出て、バスでコブレンツ市内に戻ろうとした。しかしバス停はあるがバスが来る気配がない。仕方なく事情を話し再度城内に入り、歩いてライン河畔に戻ることにする。坂を下り、かなり歩く。途中で市内行きのバス停を見つけた。ベンチに座ってバスを待っていたら無情にもバスが目の前をかなりのスピードで通過して行った。普段こんな所で乗車する客がいないのだろう。仕方なく、再び、渡し舟で左岸に戻った。船の方が、よほど確実。

三連バス（4ユーロ）で、市内遊覧（約1時間）。ベートーベンの母の生家などがある。

ライン河畔で、昼食 オムレツ（5.5ユーロ）英語併用メニューだったのでなんと理解できた。徒歩にて、ショッピング街へ。スーパーで買い物（普通のビール見あたらず）ホテルへもどる。



Deutsches Eck （手前ライン川，中央橋の架かっているのがモーゼル川、  
Eck（エッジ）の左にヴィルヘルムの皇帝像が見える）

（特記事項）

列車は、黄色のすじのはいつている車両が1等車である。いつも空いているので、ゆっくりくつろげる。特にコンパートメントは6人掛けの個室で、大きな旅行鞆を中に入れても充分余裕がある。



長距離列車の一等車の場合、1車両に8～10個のコンパートメントが有る。今回の旅行の場合1～2組先客がある程度で、あとは空室。灯りが消えている部屋は空と考えて良い。コンパートメントは部屋毎に空調、灯りを調節することが出来る。DBのレールは継ぎ目のないシームレスレールでゴトン、ゴトンという音がほとんど聞こえない。特にコンパートメントのドアを閉めると部屋の中はとても静か。従って室内は小さな声でもで充分話が出来。日本の新幹線より快適かもしれない。

列車内には、その列車専用の時刻表は置いてあり、それを見れば途中駅の到着時刻等が分かる。走行中駅名は、車内放送されるが、なかなか聞き取れない。長距離列車内では、ドイツ語のあと英語で車内アナウンスがある。ただし英語のアナウンスは途中の停車駅など詳しいことは言ってくれない。

案内板等からわかったこと。

Nachster Halt 次の駅

Ausstieg Links 出口左

Ausstieg Rechts 出口右

駅を見てわかったこと。

Richtung Trier トリアー方面行き

Später 遅れ

Farhalyer 券売機

Ausgang 出口

Eingang 入口

Herren 男性用

Damen 女性用



一等車の車内です。持っている紙が列車備え付けの時刻表



コブレンツの教会

9 / 30 (土) 晴れ

コブレンツ→トリアー→ルクセンブルク



トリアー ポルタニグラ

コブレンツ駅の10番線から、トリアー行きの列車が出る。10番線には、1つのホームでありながら sud (南) と nord (北) 2カ所の発着所がある。即ち、ホームの前方と後方でそれぞれ出る電車が違う。最初それが分からずに待っていた。電車は後ろの方に入線したので急いで移動して無事乗車。

その時、無賃乗車であろう人が、罰金をとられているのを見ました。警察の車もきています。

(ドイツの鉄道では乗り越しの制度がありません。目的地までの正規のキップを持っていなかった場合は早速罰金。その点ユーレイルパスはとても便利。ただし、ユーレイルパスは日本国内で購入する必要が有り。ドイツに行ってから購入することは出来ないので要注意。)

列車はワイン畑を左右に見ながらモーゼル川に沿って進む。

コブレンツ→	トリアー
8時22分発	9時47分着





トリアーの土曜マルクト

駅から歩いてポルタニグラ（黒い門：古代ローマの遺跡）を目指す。土曜日で、マルクト(市場)が出ていた。小さいワイングラスを並べている店があったので、本場のモーゼルワインを少し飲むつもりで頼んだら、小ジョッキが出てきた。しかもアップルワイン？全然言葉が通じていない。一気に飲み干し、三連バスに乗って市内観光（6ユーロ）。ドイツ語、英語、仏語のガイドあり。日本語がなくて困った。途中古代ローマの遺跡、カール・マルクスの生家などもあった。聖母教会見学（2ユーロ）パイプオルガンのコンサートの日であり、偶然にも素晴らしい演奏を聞くことができた。オルガンは教会の中央にあった。マルクトで、ブルーベリー（3．5ユーロ）プルーン（500g 1．2ユーロ）を買う。プルーンが甘くてとてもおいしかった。駅で、昼食用のパンを買う。



ルクセンブルク 憲法広場

トリアー→ルクセンブルグ 13時45分着

ルクセンブルクに入国したが、パスポートのチェック等はなし。市内観光バスに乗ることにする。2階バスで、乗り降り自由。日本語のガイドあり。バス停は駅前のスーパーの前と言われたが、なかなか見つからない。やっと見つかった。スーパーと言っても日本のコンビニ程度の大きさの店だった。その前にバス停あり。バスに乗り込むと夫、年齢を聞かれる。60歳以上なら10ユーロだそう。60歳以下なので12ユーロ支払う（最初からそう言ってくれればいいのに）。



ルクセンブルクの旧市街

市内は古い町並みと超近代的ビル群のある新ビジネス街にはっきり分かれている。歴史は古いが活力のある若い国であるという印象を受けた。眺めの良いところで降りた。おいしそうなケーキの食べられるお店を見つけたが、電車の時間が気になったので、とりあえずタクシーで駅へ。電車の時間を確認した後、駅前のカフェで今度はケーキ付きのコーヒーをいただく。ケーキは大きくて、2人分ぐらいある。店員さんは、フランス語だった。値段は？サンクまでは、分かったが、… そばのおじさんが5本指で教えて貰くれた。（5ユーロ）。

ルクセンブルグ→トリアー 16時24分発

同じ時刻に発車する電車が数本あるので、時刻表で行き先を確認していると、おじさんが、「どうしたのか」と尋ねてくれた。「トリアーに行く」というと、「よくわからないので、駅員に確認しなさい」と言われる。駅員さんに聞いてよかった。ホームが違っていた。おそらく地元の人も間違えやすいのだろう。さっきのおじさんは、心配して私たちにアドバイスしてくれたのだろう。

トリアー→コブレンツ 17時9分発

乗るつもりが電車が遅れていて入線して来ない。良く分らないまま皆の行く方に付いて行った。案の定、電車が遅れたことでホームが変わったらしい。17時21分発に無事乗車。コブレンツ到着は19時を過ぎる。この間、検札は来なかった。駅でビール購入。象さんマークの缶ビールがおいしい。

10/1（日）曇り

コブレンツ→マインツ →ケルン→コブレンツ

8時48分発

列車がマインツ駅に到着、電車を降りる時ドアが開かず困っていたら、隣のドアから乗った女の人が、蹴っ飛ばして開けてくれた。今まで経験したことのないドアで、コックをひねった状態で押す方式。相当力が必要であり開けにくい。

（ドイツの電車のドアは新幹線を除き手動が多い。特に降車の際は手動が多く、注意が必要。乗り降りの際は一步退いて、ドイツ人にドアの開閉を任せるのが得策と考えます。）

シラー広場経由マインツ大聖堂まで歩く。本日は日曜日、店は全て閉店中、メインストリートのブランド店、お土産屋さんも開いている店は一軒もなく町全体が閑散としている。これがドイツの日曜日か・・・。

ドイツの教会の中で最も権威のある教会の一つであるマインツ大聖堂に到着。中をそっと覗いてみると礼拝中。入場を諦めて、近くのグーテンベルグ博物館に入ることにする。その前にコーヒーブレイク（5ユーロ）。制服姿の日本の女学生達に遭遇、黒のブレザーを着ていた。修学旅行だろうか。

グーテンベルグ博物館を見学後、もう一度大聖堂に戻る。まだ礼拝中であったが、座って少し説教を聞く。ドイツ語の説教が教会全体に響き渡り、恐ろしいほどの迫力を感じた。



マインツ大聖堂

次にシャガールが手がけたといわれるステンドグラスがあるザンクト・シュテファン教会に行く。しかしここも礼拝中で入れず諦めて帰ることにした。路面電車の駅がすぐそばにあったので、マインツの駅まで乗った。最後まで運賃の払い方が分からず、またまた無賃乗車でした。

マインツ→フランクフルト中央駅

遅れていたため、予定していた電車には乗れず、次の電車（反対側のホームにきた）に乗る。



フランクフルト中央駅→ケルン

Long Distance Train のマークに従い乗り場を探す。念願の ICE に乗るのだ。14時9分発なのだが、何やらアナウンスあり、近くのおばさんが教えてくれる。8分遅れているとのこと。14時17分やっと乗ることが出来た。ケルン行きは、前方。スピードは速いが、トンネルが多く日本の新幹線と同じだ。15時ケルンに到着。3日前に来たけれども、入場できなかったケルン大聖堂に今回は入場できた。見学の人は多い。ステンドグラスはとてもすばらしい。来てよかった。

ケルン→コブレンツ IC

15時48分発



列車は、長い編成で1等車が見つからず、車掌さんに聞くと3両前、レストランの先だといわれた。1等車は、大体前方の車両だと分かってきていたが、今回は前がどちらかわからなかった。日本の駅なら、何々方面（上り下り）というのが、すぐ分かるのだけれど、ケルンの駅は特に分かりにくい。なんとか一等車のコンパートメントに乗れた。ほっと一息・・・。



これまで電車に乗っていて、日本の電車が如何にダイヤが正確か、また混雑しているかが分かった。立っている人は、めったにいない。DB は自転車を持って乗っても犬を連れて乗っても OK。

ホームが混雑したのは、ケルンぐらいか。時間帯が通勤時間だったせいもあるようだが。ところで、日本ならグリーン車はホームの真ん中に停車。高いお金を払っているのだから、一番便利なところにあるのが常識なのだが、DBの1等車は端っこが多い。前か後、主に先頭車両が多いようだ。

10/2 (月) 晴れ      コブレンツからレーゲンスブルクへ列車で移動

コブレンツ最後の朝、教会まで散歩。8時半丁度ドアが開き教会の中を見学することが出来た。その後、教会近くにあるローセンタ(本には、レーアセンターと書いてある)に行ってみた。とてつもなく大きいスーパーであった。9時から開店しており、お客さんがちらほら。お土産のチョコを買った。

ホテルのチェックアウト、ミニバー(小型冷蔵庫)を使ってないかと聞かれる。駅前で買ったビール等を入れるため、中に元からあった飲み物を出したため、飲んだとみなされて料金を払うように言われた。しかし最後に元に戻したと言って納得して貰う。5日間も宿泊してミニバーの中身を全く使わないお客さんは滅多にいないのかも・・・ケチとしか言いようがない。

メルキュールホテル    5泊      769ユーロ

(朝食付き2名で1泊    ¥23,000    税込み、4つ星ホテルです。部屋の大きさを考慮すると日本より安いと思います。)

コブレンツ→レーゲンスブルグ

10時48分発      ICE

電車は5分ほど遅れる。遅れるのは、日常のことかもしれない。フランクフルトまでは、あまりスピードが出ないようだ。線路際にオペルの大きな自動車工場、この工場どこまで続くのか、電車の駅名にもオペルの文字が・・・。フランクフルト駅に近づくと、高いビル群が見えた。それを過ぎてからは、畑と森と赤い屋根にクリーム色の壁の集落が見えるばかり。大きな犬を連れて乗る人もいる。食堂車に何か売っていないかと見に行くが、何もないようだ。日本なら、売り子さんが行ったり来たり、うるさい位だろうに。食べ物を買って乗らなかったのも、仕方がなく手持ちのビールとブルーベリーとチョコで、昼をごまかすことにした。2回目の検札があり、その時車掌さんが、気の毒に思ったのか昼食を持ってきてくれるという。サンドイッチ2ヶを注文する。やっとお昼にありつけた。2人で、7.2ユーロ、どうやら、車掌さんは売り子さんの仕事もするようで、頼むと色々持ってきてくれるようだ。そう言えば他にも飲み物を頼んでいる人がいた。とうとう食堂車には行きそびれた。

15時28分レーゲンスブルグ到着。途中、雨が降っていたようだが、降りる時には止んでい



レーゲンスブルクの町並み

た。マクシミリアンホテルまでは、徒歩5分、約300メートル。ホテルの案内に市内観光のバスが有ることを発見し、17時発に乗ることにする。ドーム前から出るのも、その前にドームを見学する。ステンドグラスがすばらしい。バスは、3両連結で、英語のガイドがある。やはり日本語はない。45分間で終了。観光バスの参加者にはコーヒー券がついていたので近くのカフェに入りタダのコーヒーをいただく。他に注文がないかとウェイターに聞かれる。渋い顔をされる。トイレ有り。

その後ドナウ川にかかる、ドイツで最も古いという石橋に行ってみる。レーゲンスブルクは小さな町だが旧市街がとても美しい。世界遺産登録も間近と聞いて納得。

夕食は、駅の売店で調達。ザワークラウトがおいしい。



レーゲンスブルクの町並み





ホテル マクシミリアン

10 / 3 (火) 雨

今日はドイツ統一の日。祝日のようだ。

レーゲンスブルグ→ビュルツブルグ

8時48分発

今日は朝からかなり雨が降っている。駅で傘を買う（約¥500／本、日本とほぼ同じ価格）。電車に乗ってくつろいでいたら検札がきた。車掌さんの顔を見てびっくりした。昨日サンドイッチを持ってきてくれた車掌さんだった。車掌さんもビックリしていた。ユーレイルパスを使って、行ったり来たりしているのではないかと思っただけ。世界遺産のビュルツブルグレジデンスを見学すると言って納得してもらおう。ところで、車掌さんは、キャッシー中島に似た女性です。DB の車掌さんは女性の方が多いかもしれません。

タクシーで、レジデンスまで行く。雨が降っているのに庭の前で降ろされてしまう。入口までぐるっと廻ることになる。ところが、「人がいっぱい」と日本語で書いてあり、ドアがしまっている。



ビュルツブルクのレジデンス

レジデンスの中は勝手に見学することが出来ない。見学者が20名程度集まった時点でガイドさ

んが引率して見学が始まる。しばらく待っていると英語のガイドが有るので中に入る。残念ながら、日本人観光客が少ないため日本語のガイドが始まるまで待ってられない。(4ユーロ)。

レジデンスの中で、鏡の部屋がすばらしかった。ガイドさんはとても丁寧に説明してくれた。終わってみるとお昼になっていた。

近くで、サンドイッチ、スパゲッティ、コーヒーで、昼食。バス乗り場で、要塞マークの乗り場(Festung)を見つけて、乗ることにする。12時58分発。(2ユーロ)マリエンブルグ要塞に到着。運転手さんに帰りのバスで、駅まで行けるか尋ねる。駅には行かないが、近くを通るので、帰りのバスの時間を確認してから、中を見学することにした。要塞からの眺めはすばらしい。当たり前か。よく町が、見えなければ要塞の意味がない。

13時58分、駅の近くのバス停の名を、夫が教えてもらい、乗り込むが、実は良く分からなかったらしい。景色を見ながらバスに乗っていたら、かの有名なレントゲンの生家を発見した。そのまま乗っていたら市内を1周し、結局駅の近くの停留所を通り過ぎて、マリエンブルグ要塞に戻ってしまった。運転手さんにあきれられた。「ユリウスプロムナード」と改めて教えて貰う。それにしても運転手さん、不親切です。「ここで降りなさい」と一言、言ってくればよいのに。日本人のほうが親切かも。バスのお客は我々を含めて5名程度だったのに。2人で大笑い。



雨に煙る ビュルツブルクのマリエンブルグ要塞

14時32分のEC(ヨーロッパ都市間特急:ユーロシティー)に乗るつもりでいたが、その前に14時28分発のICEがあるので、それに乗ることにする。しかし目的駅の直前で止まって動かない。人身事故か?近くの人に聞いてみたが分からない。15分遅れでニュルンベルクに到着。すぐ後から、当初乗車する予定でいたECが来るので乗り換えるため向かいのホームに走る。ようやくレーゲンスブルクに到着。何が起こったのか最後まで分からなかった。

雨は止んでいた。まだ、明るい。きょうは、夕食はホテルでと思っていたが、ホテルのレストランはお休み、また今日は祝日なので、メインストリートのレストランも休み。仕方がなく駅へ戻り、ザワークラウト、サンドイッチ、ソーセージ、ワインを買う。まともな夕食はまたまたお預けです……。その帰り、またまた、雨が、ザーザー降ってきた。今日はほんとについてない。最悪の日。明日はいい日で、ありますように。

10/4 (水) 雨

レーゲンスブルク→Landshut(bay)Hbf→Salzburg

7時45分発 8時26分着 39分発 ザルツブルク10時49分着

朝、学校に通う学生とすれ違う。歩く者、自転車通学の人、バスに乗る者。さまざま。学生達が乗るバスは混んでいる。小中高生か。煙草を吸いながらの者がいる。ドイツは何歳からOK?

ザルツブルクに向かう電車は、かなりのローカル線だった。ガイドブックによれば、ザルツブルグ駅から5分ほどで、パノラマツアー乗り場あるはず。しかし列車のガードをくぐる所で道を間違える。但し、間違えに早く気が付いたので事なきを得た。



ザルツブルク ミラベル宮殿

12時のスタートの日本語ツアーは満員。仕方なく英語のツアーを申し込む。出発まで、近くのカフェでコーヒープレイク。夫がモカを頼んだら、ココアだった。SがM, MがL位の量。トイレは鍵を持って地下に行く。電気も自分でつける。怖かった。バス乗り場で、日本の女の子2人に会う。彼女達は日本語のツアーだった。それは6人乗りの赤ワゴン車。途中で先ほどの日本の女の子2人組に何度か出会った。コースはだいたい同じなのだ。旧市街、モーツアルトの住居前を通り、Sound of Musicの舞台となった屋敷等に立ち寄る。ホーエンザルツブルク要塞を遠くから眺め、最後は、Mozarts Wohnhaus前で解散。



ホーエンザルツブルク要塞





モーツアルトハウス

ツアーのチケットでモーツアルトハウスに入る。ここは日本語の解説あり。音楽入りの詳しい解説をヘッドホンで聞きながら約一時間過ごす。モーツアルトチョコを買った後、旧市街に徒歩で立ち寄る。マルクトが開かれていた。黒いベリーとまたまたプルーン500グラムを1.2ユーロで買う。歩いて駅まで戻る。

ザルツブルク→ミュンヘン

15時53分発 17時44分着

1つ前に到着の電車が25分遅れで到着したので、この電車は5分遅れで出発。ドイツの電車の遅れは日常茶飯事か？特に事故とか有った様子はない。昼食を食べていなかったの、サンドイッ



映画 サウンド オブ ミュージックに出てくる屋敷

チとおやつパンとお茶と先程のフルーツで、遅い昼食。

ミュンヘン→レーゲンスブルク

19時14分到着

夕日が、美しかった。カップスープの素、ザワークラウトを買ってホテルへ。今日は、ホテルの夕食は、やっているようだが…。3日は、祝日のせいで、やってなかったのだろう。本日も粗食で我慢する。



ICEの先頭車両

10/5（木） 晴れ

レーゲンスブルク→ビュルツブルク→フルダ→ドレスデン

昨日駅でドレスデンまでの行き方を尋ねておいた。行き先を告げると電車の時刻をちゃんとプリントしてくれる。ドレスデンへはローカル線を利用するのが最短コースであると教えられた。しかしどうしてもICEに乗りたかったので、遠回りコースの時刻表を教えて貰う。変な顔をされた。

レーゲンスブルク→ビュルツブルク→フルダ

8時33分発 10時26分着 33分発 11時3分着

ビュルツブルグで乗換。1等車が、反対のところに有り、荷物を押してホームを歩く。我々が乗った電車が遅れたので心配したが、フルダでは、乗り継ぎの電車が待っていてくれた。11時12分、5分遅れで出発。またしても1等車を求めて電車の中を歩く。旅行鞆を持っても通路が広いので大丈夫。1等車のコンパートメントはきわめて快適です。

地平線が見えるようなドイツ平原の景色が続く。畑か牧草地か。先頭車両の席が空いていたので、運転席をみながら乗ることにした。運転手さんは、真ん中にどかと座って、一人でコーヒーを飲みながら、運転していた。ところが、ライプチヒでこの車両は1番後ろになった、残念……。こういう進みかたをよくするみたいだ。14時52分ドレスデン到着。

長い長い旅でした。駅を出ると。雨が、パラパラ降っていた。タクシー乗り場をやっと見つけ、ホテル、エルプフローレンツへ、(タクシー：4.9ユーロ)

雨が止んだ。ホテルで、地図を貰い、ツヴィンガー宮殿まで歩く(10分)インフォメーショ

ンで、プラハ行きの観光バスが Monday, Wednesday ,Saturday ゼンパーオペラ前から出発するという情報を得た。しかし予定していた土曜日は残念ながら満席。電車で行けと言われる。仕方なく、明日のドレスデン Sightseeing Tour を申し込む。(3年前来た所にまた来るなんて思いもしなかった。) 車も人も多くなっているような気がする。

信号のない所が多く、道路を渡るのが怖い。エルベ川の畔のレストランで、さけのクリームスパゲッティとトマトマカロニ、水、ビール、2人分で23ユーロ。久しぶりにマトモな夕食を頂きました。帰日もホテルまで歩く。

ホテルがある World Trade Center 内にはスーパーが有り、ザワークラウト、ビール、ワインを購入。ザワークラウトは、量り売りで、レジで、きちんと量って計算していたようだ。

(日本のスーパーも見習うべきところがある。量り売り、レジ袋は出さない、お金を出せば袋は買える等・・・。

但し以下の動作は日本と少し違います。レジの人は座ってお仕事をします。品物は、お客が自分で籠から出してコンベヤーに乗せます。レジの人がスイッチを入れるとコンベアが動き品物がレジの前へ。レジを打つ。支払いを済ませる。品物は、再度お客が自分で籠に入れる。籠から品物を出して袋に詰める。ドイツでは、お客さんよりレジの人の方が偉いのです・・・・)

ラッキーなことに今回のホテルは2部屋ありとても広い。入り口のドアは2箇所、中でつながっている。トイレ、風呂もそれぞれ2つある、キッチンもついている。こんな豪華な部屋は初めてだ。更にくだもの、シャンペンサービス付き。しかも宿泊費は比較的安い。

10/6 (金) 晴れ

ドレスデン観光。



前日申し込んだ Sight seeing バス(9時半発)の乗り場まで歩く。途中の広場で、黄色い服を着た人が、乗り場(エルベ川のほとり)を教えてくれる。いつもその辺にいて、指導するようだ。乗り場で日本語のヘッドホンの差し込み方をくわしく教わり乗車。市内をぐりとまわり、エルベ川を渡り、山の中に入っていく。アルベルト広場で降りた。歩いてエルベ川を渡ることにする。途中でウエステインバルビュードレスデンホテルの前を通る。3年前に泊まったところだ。やはり綺麗なホテルだった。さらに聖母教会まで歩く。8ユーロで塔の上まで行くことが出来る。ドレス



デン市内が一望できた。3年前はまだ完成していなかった。すばらしい教会だ。再建方法を聞くと、



聖母教会展望台からドレスデンの町を望む

またまた驚きである。残念ながら礼拝中なので教会の中へは入れなかった。ヒルトンホテルは、「君主の行列」の壁の前にある。中の **Shop** で買い物。トイレ休憩。ホテルのトイレにもおばさんがいた。昼は教会の前のレストランで、ポテトスープ、パスタ（パン付き）10.17ユーロ。外で食べたので寒かった。レストランのトイレにもおばさんがいた。



エルベ川と聖母教会

ツヴィンガー宮殿には3つの美術館がある。はじめに、陶器の展示を見学、マイセン、九谷焼、有田焼き、中国製等多数展示あり（5ユーロ）。一方、有名なラファエロ作システィーナのマドンナがある美術館は入り口が異なり、係りの人に教えて貰ってやっと入場（6ユーロ、コートを預けて0, 5ユーロ）。中は広くなかなかお目当ての絵が見つからず、辿り着くまでに相当歩いた。マドンナの絵は思ったより大きな絵で、すばらしかった。フェルメール、ルーベンス等の名画が展示されていたのだが疲れていたのを見ずに退場。ツヴィンガー宮殿の展示は他にもあり、入口がそれぞれ違う。兎に角入り口が分かりにくい。3年前、中に入らなかった理由もわかるような気がする。入るとまた時間もかかるし、疲れるし・・・。



聖母教会の展望台から見たドレスデンの街

宮殿を出て再度観光バスに乗り、今度は、チーズの店の前で降りる。ここは、他のバスもいっぱい停まっており観光客で賑わっていた。店に入るとチーズのにおいでむせかえっている。次のバスに乗って、やっとゼンパーオペラ前に戻る。

明日のチェコ行きの切符を求めて、駅まで歩く。（チェコへは、ユーレイルパスでは行けない。）



かなり歩いた気がする。**Information** は、結構混んでいた。やっと切符が買えた。両替所もあって、チェコのお金に替えた。帰りは、路面電車に乗り（全線 1.7 ユーロ）、2 つ目の **Freiberger Strass** で降りると目の前が **World Trading Center** 今日はいまよくいった。帰りにスーパーでサラダ、牛乳等を買う。本日の夕食です。



ホテルの窓から眺めたドレスデンの夕日



ツウィンガー宮殿内美術館 陶器の展示

10 / 7 (土) 曇

7時55分発 ドレスデン→プラハ

昨日、路面電車に乗って帰ったので、その横の道を歩けばいいことに気が付き、駅まで歩くことにしたが、思ったより距離があり必死で歩き10分前にやっと到着。しかし、電車が遅れていたで（10分ぐらい）助かった。結構混んでいて、いろいろ探し、女の子1人でいたコンパートメントに入る。日本人の女の子だった。その女の子は、筑波大生で、一年休学して、パリでの仏語の勉強半年を終え、ベルリンからプラハ、イスタンブールへの一人旅だそうだ。しばらくしてチェコ人の男の人が入ってきた。その人に夫が、チェコのことを聞くと英語が堪能で、**Information** の位置まで詳しい地図を書いて説明してくれた。お陰でとても助かった。驚いたことに **Sightseeing** の bus の出発時間までよく知っていた。

ドイツとチェコの国境を通過後両方の国の役人が来てパスポートを見せる。ドイツ出国チェコ入国。緊張が走る。

先ほどの親切なチェコ人はプラハのホレイショヴィツア駅を降りて、地下鉄で1つ目の **Museum** で降りるとよいと教えてくれた。チケットは煙草屋（キオスク）で買うといいといわれた



が、チケット売り場は、地下鉄の入口にあり、買うことができた。チェコ人お奨めのツアーのチケットが購入できる **Information** を発見することができなかった。違うツアー切符を買ってから、すぐ近くにその **Information** があるのに気が付いた。残念。

トイレは、**Information** そばの地下にあった。やはり掃除のおばさんがいる。バスの時間までに地図を買った。日本語の地図で、立体的なのでわかりやすい。バスは1時間で戻ってきた。カレル橋をめざして歩くことにする。途中、バスツアーの中で、案内があった有名なレストラン



レストラン スラビア

(スラビア) で昼食。チェコの大統領もお忍びで来店するそうです。

ポテトスープ(パン付き) 夫は、ビーフステーキ(蒸しパンが、4つも付いていた) 私は、**Starter**(多分、前菜) スモークサーモンとサラダ、ワイン、2人で500クラウン(3500円くらい: 比較的安い、チェコの大統領はそれほど豪華な食事をしていない)。

カレル橋を渡り、階段を上り、プラハ城へ。ゴシックの教会でステンドグラスがすばらしい。日本人のグループ有り。疲れて、コーヒブレイク、トイレ休憩。帰りは反対側へ降りていく。カフカの記念館があったが疲れていたのでパス。

もうひとつの橋を渡り、旧市街へ。お祭りのような雰囲気のある広場を通り、プラハ中央駅まで歩く。ベルリンへの電車はこの駅から、地下鉄で3つ目のホレイショヴィツアからでる。すごく寂しい駅で驚く。マクドナルド80メートルの看板にひかれ、コーヒブレイク。紅茶と鶏肉カツポテトセットを頼む。ところが、トイレに入ったあと鍵が開かず、ドアをさんざんたたいて、

「**Help me!!!**」 やっと係りの人が、来て開けてくれた。こんなことは、生まれてはじめてだった。ここに置いて行かれたらどうしようとあせった。ところが、夫は全然気が付いてくれなかつ



た・・・。

やっとのことで、ベルリン行きに乗り込む。しかし、そこは指定席だったので移動。さらに空いてから、コンパートメントに移動。20時1分ドレスデン到着。途中チェコ出国ドイツ入国で、パスポートチェック。駅でチェコのお金から。ユーロに両替。路面電車で無事到着。もうお店は、ほとんど閉まっている。

(プラハでは、両替所はいくらでもある)



プラハ城に通じる坂



ビート大聖堂



プラハ ヴァーツラフ広場 後方は国立ミュージアム



カレル橋 プラハ城



プラハ ティーン教会

10/8 (日) 晴れ

ドレスデン最後の日

ドレスデン→バドシュンダウ→ザクセンスイスを目指す。きのうのプラハ行きと途中まで同じくエルベ川に沿って上流へ。1つ前の電車9時55分発 ECに乗れたが遅れていたの、10時発の



ローカル線に乗る。1等車は空いている。電車からの眺めは、すばらしい。10時48分着。手前で、大勢降りた駅があった。歩いてザクセンスイスに行くのだろうか。渡し舟に乗り対岸に渡る。(2人で、1.5ユーロ)。MarktにあるInformationで、奇岩のある所のSightseeing busを予約する。13時発なので、昼ご飯を食べる所を探す。トマトスープ(トースト付き)ポテトスープ(トースト付き)コーヒー、ケーキ(10.6ユーロ)。バスは2階建で屋根はない。往復10ユーロ、客は、我々2人だけ。おんぼろ車で、揺れることはなはだし。椅子に置いたカメラも落ちた。これで、山道を猛スピードで走る。バスを降りて、さらに5分ほど歩いて、Busteiに到着。1.5ユーロ払って絶景ポイントへ。エルベ川を眼下に、テーブルマウンテンを遙か彼方に眺め、100m以上の絶壁に作られた石橋を渡る。足がすくむ。

戻って、コーヒーブレイク。バニラアイスクリームのせ1.5ユーロ。カフェ付き2.85ユーロ。トイレはここにはなくお店の人にその店のロゴマークの入った紙をもらって行く。トイレで見せるとチップはいりません。しばらくのんびりする。風もなくとても静か。帰り際、日本人ツアーの添乗員さんに遭遇、日本人1名が迷子になったので、心当たりはないかと聞かれた。添乗員さんは外国人(ドイツ人)で、2時間以上も捜しているとか。しばらくすると、迷子になった女性が、カメラの三脚を持って疲れた表情でこちらに向かって歩いてきました。添乗員さんが笑顔で迎えていました。見つかって良かった・・・・・・・・。



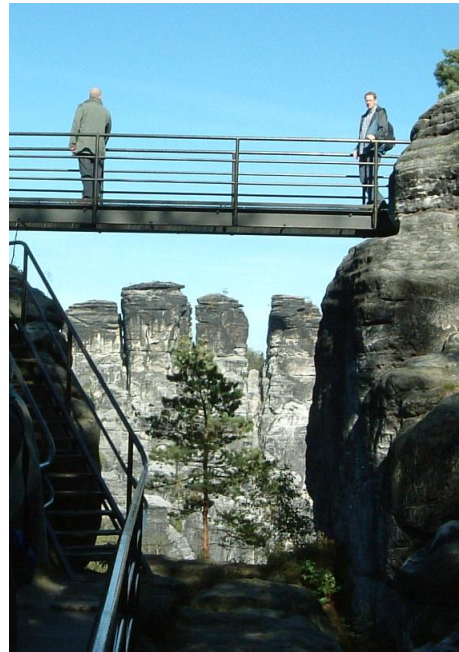
エルベ川の渡し舟

バスタイを15時48分に出発、16時20分にエルベ河畔に到着。そのまま渡し舟で対岸へ渡る。予定より早い16時40分発の電車に乗れた。17時25分ドレスデン到着。今日は日曜なので、マルクトは休みのはずなので、駅で買い物。やはり、その通りだった。プラザ前でお祭りのような催し物があった。こどもの社交ダンス大会のようだ。みんな上手だった。





ザクセンスイス



バスタイ

10/9 (月) 晴れ ドレスデンからベルリンへ移動

北朝鮮が、核実験をやったようである。朝から、CNN はそのニュースでもちきり。大変なことになったのか……・??。

10時3分→12時18分 IC

ドレスデン発 ベルリン着

朝ゆっくりと出発、路面電車に乗る。チケットを買う場所がないので、近くにいたドイツ人に尋ねた。電車の中だというので、乗ってみたけれど買うところはなく、結局またしても無賃乗車。さっきのドイツ人もチケット購入方法を理解しておらず我々同様無賃乗車でした。降りてから2人で、苦笑い。(チケットの自販機のある駅もある。ドレスデンから乗ったときは確かあった。予めチケット売り場のある駅で購入しておく必要があるということか? 詳細不明)



ドレスデン World Trade Center 入り口 この奥がスーパー、ホテル



駅構内で、円をユーロに両替。ホームでは、少し時間があつた。日本人の夫婦に出会う。（10歳位上か？）これから、プラハに行くという。我々とは、逆コースのようだ。いろいろ教えていただく。

ベルリン中央駅で、Sバーンに乗り換えて、ツォー駅へ。道中乗り換え場所が、分からずにいると近くの人に「上の階に行きなさい」と教えられる。Sバーンは山手線のような電車。ただし混雑していないので大きな荷物を持っても大丈夫でした。



タクシーでホテルへ。（5ユーロ）クラウンプラザベルリンシティセンター。少し早かったけれど、チェックインできた。一休みしてから、でかける。



戦勝記念堂を通り、ブランデンブルグ門まで、歩く。（約30分）昼間は暑いくらいだ。まっすぐ続く6月17日通りがすばらしい。マイケルジャクソンも泊まったという高級ホテルアドロンでテーブルイク。（14ユーロ）トイレがすばらしい。ナチスのホロコースト記念場、ポツダム広場まで歩き、Uバーンに乗ることにする。切符の買い方がわからずにいると近くのおじさんが教えてくれた。近くなら、ABゾーンで、2.1ユーロ。しかし乗る電車もよくわからない、乗る予定

のU2路線は工事中なので、迂回して目的の駅に行く必要がある。今度は、ホームに居たおにいさんが教えてくれた。Gleisdock で乗り換え。1つ待って、乗車。やっと Witterbeigpl へたどりつく。少し歩いてホテルへ戻る。やれやれ・・・・・・一休み。

地図を買って、3年前来たことのあるレストランで、夕食。チキンのテリーヌ、ビーフとポテト、ビール1リットル、0.4リットルで、29.9ユーロ。やっとドイツらしい食事。トイレにはやはり、おばさんがいた。それにしても今日は、いろいろな人に助けられた。カイザーウィルヘルム記念教会のそばの塔は、ステンドグラスが光り、とてもきれいだ。ホテルは、バスローブ有り、湯沸かし有り、コーヒーや、ティーバッグあり。部屋でインターネットも出来る。日本人のツアー客もいる。

10/10 (晴れ)

ベルリン市内観光

カイザーウィルヘルム教会を先に見ようと9時に行ったが、まだ開いていない。隣の教会(八角形)に入る。市内観光バスは、黄色い車が、とまっていてそれが、申込所になっている。(20ユーロ)。これは、先のドレスデンで出会った日本人の夫婦に教えて貰ったところだ。10時が発。チェックポイントチャーリーで降り、見学。次のバスを待つ。シャルロッテンブルク宮殿で降りる。いろいろな種類の入場券があり、よくわからない。No Guide のところが空いていたので入ったら、肝心の陶器の部屋へは行けなかった。並ぶのが嫌いだという性格が、災いしている。一通り見て、売店で、絵はがきを見せて聞いた。この部屋を見学するには？陶器の部屋を見学するためには別のチケットが必要であることが分かった。

陶器の部屋はガイド付きで、5ユーロ。切符を購入し少し待ってやっと念願のところへ行けた。ここにもトイレにはおばさんがいる。バスに乗り、1番に戻り、近くのレストランで、野菜スープとシュリンプピザとワインで、遅い昼。

もう一度、4時頃バスに乗る。途中のブランデンブルク門で降り、ウンターデンリンデンでSバーンに乗り換えて、中央駅を通り、ZOO 駅で降りる。今回は、うまくいった。街を歩き、KDW



に入る。観光バスで、このデパートには沢山の種類のパンとソーセージがあると教えられたからだ。

パンとソーセージ、ビスケットを買う。KDW のトイレにもおばさんがいる。

10/11 (水) 晴れ ベルリン最後の日

ベルリン→ポツダム

S バーンで、約30分。ポツダム駅から、Information をめざすが見つからず、さらに歩く。ポツダムのブランデンブルク通りを歩くと、門のすぐそばにあった。途中で、名物のクッキーを買うが、まずい。サンスーシーへは噴水のある庭の方から入る。10時40分からの見学を申し込む。5ユーロ。ガイドはドイツ語、日本語の説明書を読みながら進む。所要時間約40分。

ツェツィリエンホーフ宮殿まではサンスーシーから少し歩き、292番のバスに乗る。(1.7ユーロ) 降りてみると、どちらへ行って良いかわからない。案内板がない。困っていると、いっしょに降りたおじさんが詳しく教えてくれた。なんと宮殿のすぐ前に住んでいる人だった。進行方向に向かって50メートル位歩くと右側に入口がある。中には、ホテルもある。ホテルのトイレを借りる。見学5ユーロ。ここまでは、あまり、日本人も来ないようだ。ポツダム宣言の舞台になったところだが…。ここから、日本の戦後が始まったのだ。



帰りは、同じバスで、同じ方向に乗る。(一歩通行の為) ところが、このバスは、HBF (中央駅) には行かないので、Rathaus で乗り換え。路面電車96番で無事ポツダム駅 HBF に到着。駅で、昼食。自分で選んでお皿に入れて貰う。久しぶりにお米を食べた。2人で12.99ユーロ。

15時12分発の電車に乗ったが、これが間違いの始まりだった。S バーンに乗るところを中距離列車の乗り場に行った。日本でいえば京浜東北線ではなく、東海道線に乗って東京に戻るのと同じ。ベルリンと書いてあったので乗車したがベルリン・シェーネフェルト空港の行きだった。反対方向に走りだして、やっと気がついた。車掌さんに聞くが、通じない。今回の間違いは、たとえばディズニーランドに居て東京都内のホテルに戻ろうとしたとき、間違えて東京国際空港行き(成田)に乗ってしまったようなものです。

30分ぐらいのって、Seddin という駅で降りる。反対方向の電車が来たので、あわてて乗ったら、これが、また間違い、途中から別の路線に入ってしまう。だんだんベルリンが、遠ざかる。どうしよう…

Belzig という駅で降りる。駅舎で車掌さんに聞くとやっと通じる。16時54分発が反対方向か



らくる。これは、ポツダムを通らずにベルリンに行くとのこと。

しばらく時間が、あるので、駅の喫茶でコーヒープレイク（1ユーロ）。周りは、なにもない、ものすごい田舎の駅。ベルリンから1時間位なのに。それでも時間になると人が集まってきた。やっとのことで、乗車。念の為いっしょに乗る人に聞くとちゃんと ZOO 駅に行くという。それでも安心できず、電車の中の地図をみて、やっとな安心。17時52分ZOO駅着。30分のつもりが約3時間かかってしまった。



ポツダム ツェツィリエnhof宮殿

駅で今晚の食事を調達。タクシーでホテルに戻る。道路が混んでいて、遠回りする(4ユーロ)。

いつもは、かなり慎重に確認しながら乗るのに、反対から来ただけで乗ったら大変なことになるのが良く分かった。あとで、地図をみると、あわてて降りた駅 Seddin は、2つの路線が合流しているところだった。また、最初に乗ってしまった電車は、そのまま乗っていればベルリンに戻る電車であるらしいことも分かった。もっとも相当時間がかかるようだが。あの英語の通じない車掌さん（女性）も独語でそう言っていたのかな・・・・・・。



ポツダム ツェツィリエnhof宮殿



10/12 (木) 晴れ 帰国の日

ベルリン→フランクフルト→成田

7時50分出発。 タクシーで、ZOO駅へ行き、前日調べておいたバス乗り場から、ベルリン、テーゲル空港行きのバスに乗るつもりだった。しかし、なんだかタクシーは反対の方向へ進み出した。我々が大きな旅行鞆を持っていたので、中央駅から、長距離電車に乗ると気がつくたらしい。また、ツオー駅は、距離が近いと文句を言っているようだ。「テーゲル空港へ行くのだから、ツオーで、いいのだ」と言うをやっと納得してくれた。やれやれ。ところが、今度は、ツオー駅を通りすぎてしまう。飛行場まで、行くというのだ、私はそれでもいいと思ったが、夫は「No, No」と言う。運転手さんは、「ヤパニッシュ ノーマネー？」と言う。15ユーロで、行くというのだ。仕方なく従うことにする。勝手な運転手さんだ。結局14.9ユーロだった。8時30分到着。おかげで早く着きすぎた。飛行機は10:40発の予定。

すぐチェックインしてしまった。これが失敗のもとだった。中へ入るとなにもない。ウィンドーショッピングするような所もない。これから、2時間以上長いなあと思っていると今度は我々の乗る予定の飛行機が遅れているとのアナウンスがはいる。さらに待つのか……うんざり、また乗り継ぎは大丈夫かと不安になる。ただし、フランクフルトでの乗り換えの時間的余裕は、順調に行けば1時間50分あるので大丈夫だろう。

暇を持て余していると、アナウンスが9番搭乗と言っている。「ハラ急いでください」と英語で



言っている。さらに「ミッチョ ハラ」と言っているが、自分の乗る飛行機とは、番号が違うから、関係ないと思って、知らんぷりしていた。ところが、しばらくして、今度は日本語で「ヒラ ミチヨ様 急いでください」言われてやっと我々を呼んでいることに気が付いた。あわてて出発カウンタへ。そこでドイツ語で一言文句を言われたような気がしました。幸いにして何を言われたかは理解出来ませんでした。そばに居たお客さんの冷たい視線を感じたことだけは確かです。

あわてて乗り込む。機内は満席、皆が我々2名を待っていました。皆さんお待たせして申し訳ありませんでした。

(いったい何でこんな事がおこったのか最初は理解できませんでした。しかし、テーゲル飛行場

でもらった航空券をよく確認することにより原因が判明しました。航空券は日本で予約した飛行機の航空券ではなかったのです。今朝ベルリン→フランクフルト便は2便あり、そのうち当初私たちが予約した便が遅れていたの、フランクフルトで成田行きに乗り遅れないようにとの配慮から、乗れる人から早い方の便に変更したものと考えられます。待合室のアナウンスが聞き取れなかったのは仕方ないとして、テーゲル飛行場でもらった航空券をよく見なかったのが失敗の原因でした。後から考えると、チェックインの時なにやら、言っていた様な気がします。参りました。失敗、失敗・・・)

1時間まんじりともせず乗っていた。ほとんどが外人。フランクフルトでは、切符の12時50分は、Boarding time で、13時35分離陸だと確認する。これは予定通り。まだパスポートチェックをしてないのが気になり、いろいろ探し回る。やっと案内の人に聞いてわかる。1つ上の階に上がり、パスポートチェック、ドイツ出国。もう一つ上の階で、もういちどチェック。予定の飛行機の搭乗ゲートの中で待つ。用心深くなっている。ほとんどが、Japanese 一安心。時間があるので、交代で最後の買い物。

ところで成田行きの飛行機は、ベルリンからの後の飛行機（当初乗る予定の飛行機）が遅れたため、約1時間遅れでフランクフルトを離陸。結局私たち恥を掻いただけ損をしたのかも・・・。



シャルロットテンブルク宮殿

ルフトハンザには、席ごとのテレビはありません。しかし、今回の席は前が空いていて足を伸ばすことが出来た。最後に幸運舞い込みました。隣は我々と同じ日程で、ドイツ1人旅、オペラ好きの九州の女性でした。お互いに思い出話をしながら楽しく過ごし、一路成田へ。

これで、ドイツ、はらはら、ドキドキの旅は終わりました。いっぱい失敗したけれど、そのたびにドイツの人や日本人、チェコ人に助けられました。分からない時は勇気を出して何でも聞く。パードゥン、パードゥンさらば道は開かれん。

ダンケシェーン 完



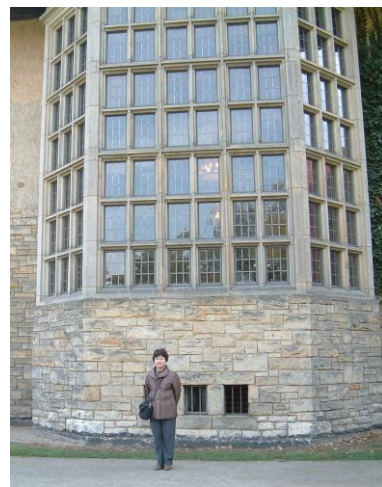
カイザーヴィルヘルム教会



ホテル アドロンのオープンカフェテラス  
ブランデンブルク門を望む



ポツダム ツェツィリエnhof 宮殿



ポツダム宣言の会議室





## ドイツ旅行

行き	2006(平成18年)	ANA(209便)	
	9/27(水)	成田発	11:35
		フランクフルト着	16:35
帰り	2006(平成18年)	ANA(6002便)	
	10/12(木)	ベルリン発	10:40
		フランクフルト着	11:45
		フランクフルト発	13:35
	10/13(金)	成田着	7:30

航空運賃(2名分) ¥288,000

オイルほか ¥49,780

合計(2名分) ¥337,780

日数	日時	曜日	宿泊地	備考
1	9月27日	水	コブレンツ	フランクフルト:16:35着 コブレンツへ
2	9月28日	木	コブレンツ	ケルン、フロイデンベルク観光
3	9月29日	金	コブレンツ	コブレンツ市内観光
4	9月30日	土	コブレンツ	Trier,Ruxenburg
5	10月1日	日	コブレンツ	Mainz、ケルン
6	10月2日	月	レーゲンスブルク	列車でRegensburgに移動、レーゲンスブルク観光
7	10月3日	火(休日)	レーゲンスブルク	Wurzburg
8	10月4日	水	レーゲンスブルク	Salzburg
9	10月5日	木	ドレスデン	列車でドレスデンに移動
10	10月6日	金	ドレスデン	ドレスデン
11	10月7日	土	ドレスデン	ブラハ
12	10月8日	日	ドレスデン	ザクセンスイス
13	10月9日	月	ベルリン	列車でベルリンに移動、ベルリン市内観光
14	10月10日	火	ベルリン	ベルリン観光(シャルロテンブルク宮殿他)
15	10月11日	水	ベルリン	ポツダム
16	10月12日	木	機中泊	ベルリン～フランクフルト
17	10月13日	金	-----	成田着

日数	宿泊地	Hotel Name	予約No	ピンコード	料金(¥/1泊)
5泊	Koblenz	Mercure Hotel Koblenz	82468023	0410	¥23,070
3泊	Regensburg	Park Hotel Maximilian	06813-77148	8968897	¥21,000
4泊	Dresden	Hotel Elbflorenz Dresden	83040859	3957	¥24,150
3泊	Berlin	Crowne Plaza Berlin City Centre	83231848	1766	¥24,500

15泊 ホテル予約 [Http://www.booking.com/](http://www.booking.com/) (朝食込み)

チェックアウトは全てam12:00

旅行費用予定金額(2名分)

航空券	¥337,780	ANA J
ホテル代	¥348,450	
ユーレイルパス	¥124,000	¥62,000 × 2名(1等車)

時刻表

<http://www.bahn.de/>

Abfah 出発

rt

Anku 到着

nft

2006/9/27(水)	成田 発	11:35					MainzでECに乗換		
	Frankfurt 着	16:35				IC	ICE	IC	
	Frankfurt Flughafen	17:23	18:23	19:09		17:58	19:09	19:58	
	Koblenz Hbf	19:07	20:07	21:03		19:10	20:10	21:10	
2006/9/28(木)									
	Koblenz Hbf	7:12	8:12	8:43	9:12	10:12	10:43	11:12	
ケルン観光	Koln Hbf	8:04	9:05	9:42	10:04	11:05	11:42	12:05	
	Koln Hbf	11:06	11:38	12:06	12:38	13:06	13:38	14:06	14:38
	Koblenz Hbf	12:40	13:13	13:40	14:13	14:40	15:13	15:40	16:13
2006/9/29(金)									
	Koblenz Hbf	7:12	8:12	8:43	9:12	10:12	10:43	11:12	
アーヘン観光	Koln Hbf	8:04	9:05	9:42	10:04	11:05	11:42	12:05	
	Koln Hbf	8:17	9:17	10:17	11:17	12:17	13:17	14:17	15:17
	Aachen	9:09	10:09	11:09	12:09	13:09	14:09	15:09	16:09
	Aachen		15:49	16:49	17:49	18:49			
	Koln Hbf		16:42	17:42	18:42	19:42			
	Koln Hbf		17:06	18:06					
	Koblenz Hbf		18:40	19:40					
2006/9/30(土)									
	Koblenz Hbf	7:31	8:22	8:31	9:24	9:31			
トリーア、	Trier	9:30	9:47	10:30	10:49	11:30			
ルクセンブルク観 光									
	Trier		10:56	12:57	13:52	14:56	16:56		
	Ruxembourg		11:39	13:45	14:45	15:39	17:39		
	Ruxembourg		14:24	16:24	17:17	17:26	18:17		
	Trier		15:07	17:07	18:06	18:30	19:00		
	Trier		15:09	17:09	18:12	19:21	19:21		
	Koblenz Hbf		16:35	18:35	19:38	21:20	21:20		

2006/10/1(日)									
	Koblenz Hbf	7:48	8:17	8:48	9:48	10:17	12:17		
マインツ観光	Mainz	8:40	9:13	9:40	10:40	11:13	13:13		
	Mainz		9:13			11:13	13:13		
	Heidelberg		10:06			12:06	14:06		
	Heidelberg				13:55			15:55	
	Mainz	13:20	13:43	14:20	14:48	15:20	16:20	16:48	17:20
	Koblenz Hbf	14:10	14:41	15:10	15:41	16:10	17:10	17:41	18:10
2006/10/2(月)									
	Koblenz Hbf	8:48		10:48					
レーゲンスブルクに移動	Mainz	9:40		11:40					
	Frankfurt	10:01		12:18					
	Aschaffenburg			12:47					
	Wurzburg	11:29		13:29					
	Nurnberg	12:24		14:24					
	Regensburg	13:27		15:26					
2006/10/3(火)									
(休日)	Regensburg	7:45	8:31	8:44					
ザルツブルク観光	Munchen	9:15	10:02	10:17					
	Munchen	9:28	10:23	10:48					
	Salzburg	10:54	12:03	12:42					
	Salzburg	15:03	16:11	16:53	18:12	19:03			
	Munchen	16:30	18:17	18:34	20:17	20:34			
	Munchen	16:44	18:44	19:44	20:44	20:44			
	Regensburg	18:12	20:14	21:20	22:14	22:14			
		乗換							
2006/10/4(水)	Regensburg	6:22	8:33	10:33	12:17				
	Wurzburg	9:22	10:26	12:26	14:21				
ビュルツブルク観光									
	Wurzburg	13:32	15:29	17:32	19:32				
	Regensburg	15:26	17:26	19:26	21:26				

2006/10/5(木)	Regensburg	8:20							
	Marktredwitz	10:00							
ドレスデンに移動	Dresden	13:40							
ドレスデン観光									
2006/10/6(金)	Dresden	7:55	9:55	11:55	13:55				
	Praha Holesvice	10:07	12:27	14:27	16:27				
プラハ観光	Praha Halavni	10:20							
	Praha Halavni								
	Praha Holesvice	13:34	15:34	17:34					
	Dresden	16:01	18:01	20:01					
2006/10/7(土)	Dresden	8:08	8:23	9:08	9:23	10:08			
	Leipzig	9:14	10:05	10:17	11:05	11:14			
ワイマール観光	Leipzig	9:19		10:22		11:19			
	Weimar	10:12		11:15		12:12			
	Erfurt	10:27		11:30		12:27			
	Erfurt	13:02	14:33	15:02	17:02				
	Weimar	13:46		15:46	17:46				
	Leipzig			16:37	18:37				
	Dresden	15:47	16:47	17:48	19:47				
2006/10/8(日)									
安息日									
2006/10/9(月)									
	Dresden		8:03	10:03	12:03				
ベルリンに移動	Leipzig								
	Berlin		10:18	12:18	14:18				
2006/10/10(火)									
	Berlin								
ポツダム観光	Potsdam								
	Potsdam								
	Berlin								



2006/10/11(水)									
ベルリン観光									
2006/10/12(木)									
	Berlin								
帰途	Air Port	10:40							
2006/10/13(金)	成田	7:30							

#### 参考図書

地球の歩き方 ドイツ,  
 地球の歩き方 チェコ, ポーランド, スロヴァキア  
 地球の歩き方 ウィーンとオーストリア  
 トーマス・クック ヨーロッパ鉄道時刻表  
 ドイツ鉄道の旅  
 列車で巡るドイツ一周世界遺産の旅  
 ドイツ町から町へ  
 ドイツ史10講  
 神聖ローマ帝国  
 物語ドイツの歴史  
 都市フランクフルトの歴史  
 チェコの歴史